

令和5年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 13

千葉県立磯辺高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分
(3) 作文	字数：400字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	学年の欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動等において優れた活動実績があると認められる記述については、加点する。取得した資格等がある場合は、加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身についている。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔60点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、評価項目アについては、a（満たしている）・b（満たしていない）の2段階で評価し、評価項目イについては、A（優れている）・B（標準的である）・C（問題がある）の3段階で評価する。

aを12点、bを3点、Aを18点、Bを12点、Cを3点とし、2名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。 意見・理由・説明が具体的で適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	各高等学校において別に定める検査（作文）の得点	総得点
評定	加点			
135点	35点	40点	60点	270点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。